

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E1140012		障害児教育総論 (Education for Children with Special Needs)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	2	1(本免)・3(副免)	教育学部	前期	木4	日本語		単独							
担当教員	氏名 衛藤 裕司 E-mail eto@oita-u.ac.jp 内線 7537														
授業の概要	障害のある子ども達の教育に関する基礎的な知識を学びます。特別支援学校に在籍する子ども達だけではなく、特別支援学級に在籍する子ども達もその対象としています。これらの子ども達の障害の定義・障害の特徴・教育の内容・方法の概要について説明します。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	特別支援学校、小中学校の特別支援学級・通級による指導の教育の仕組みを説明できる。						○			○					
目標2	知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害・発達障害・情緒障害・言語障害の教育的判断と教育の関係を説明できる。						○	○	○		○				
目標3	障害のある幼児児童生徒の教育の動向を答申等の内容に沿って説明できる。							○		○	○	○			
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								2	2	1	2	2	1		
授業の内容															
1 特別支援教育の意義・本質と目標															
2 特別支援教育の制度(特別支援学校、特別支援学級、通級による指導)と特別な教育課程															
3 知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害の教育的判断と医学的疾患															
4 視覚障害・聴覚障害の教育課程とカリキュラム・マネジメント															
5 視覚障害教育(視覚・視知覚・触知覚、概念形成の実態把握と環境整備)															
6 視覚障害教育(自立活動の実際、視覚補助具・ICT教材・触覚教材・拡大教材・音声教材)															
7 聴覚障害教育(聴覚・聴知覚・言語概念及び言語伝達能力の実態把握と環境整備)															
8 聴覚障害教育(自立活動の実際、聴覚活用、手話・指文字等、ICT教材)															
9 知的障害教育、知的障害と視覚障害・聴覚障害の合併															
10 肢体不自由教育															
11 病弱・身体虚弱教育															
12 発達障害(学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症等)教育															
13 情緒障害・言語障害教育															
14 障害のある子どもの教育に関連する家庭及び専門機関との連携															
15 特別支援教育の動向															
ライクニング	A:知識の定着・確認	○	ディスカッション(話し合い)、相互教授(学び合い)、イラスト作成				工	必要に応じてプリントを配布する							
	B:意見の表現・交換	○					夫								
	C:応用志向	○					そ								
	D:知識の活用・創造	○					他								
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	事前配布資料又は事前課題(15時間)													
	事後学修	配布資料による復習又は調べ学習(15時間) 各障害の関連団体のHPの視聴、1つ以上の障害関連映画の視聴(15時間)													
	想定時間合計	45													
教科書	障害のある子供の教育支援の手引 子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて ISBN 978-4863716131 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課(著) ジアース出版 2022年														
参考書	1. 文部科学省特別支援教育課ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm 2. 文部科学省(著):特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、海文堂出版 2018年 ISBN:978-4303124243														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	小テスト（教育の仕組みの説明）		5%	○									
	小テスト（判断基準）		5%		○	○							
	レポート（教育の動向）		40%	○	○	○							
	テスト（全般的理解）		50%	○	○	○							
注意事項	欠席届けを提出する場合、本人が2週間前以上に、直接、届け出ること（メール・ボックスへの投函は不可。なお、病気等、やむをえず欠席した場合は、復帰後2週間以内に証明できるものを添え、提出。2週間以上、経過した場合、認めない。												
備考	特別支援教育コース以外では、副免申請許可を得た者のみ受講できる。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の○ 有無													
教員の実務 経験	スクールカウンセラー												